

2011年度DAQ-Middleware
トレーニングコース
アンケート結果

トレーニングコース出席者

括弧内は人数です。

- KEK物質構造研究所中性子 (2)
- 大阪大学 DC 3 (1)
- 京都大学 M2 (1) D1 (1)
- 東北大学 D1 (1)
- JAEA J-PARCセンター (3)
- 日本アドバンステクノロジー(株) (2)
- 京都教育大学 学部 4年生 (1)

参加申し込み 15名。事前キャンセル 2名。欠席者 1名 (理由は不明)。

アンケート回答 (1)

- Q2. 講義を受講してDAQ-Middlewareに興味をもちましたか
持てなかった (0) 持った (3) とても持った (6)
その他: もともと持っていた (1)
- Q3. 講義内容のレベルをどう思いましたか?
とても低い(0) 低い(0) ふつう(7) 高い(2) とても高い(1)
- Q4. 説明はわかりやすかったですか
とてもわかりにくい(0) わかりにくい(0) ふつう(2) わかりやすい(6)
とてもわかりやすい(2)
- Q5. 講義内容は今後役にたつと思いますか
思わない(0) 思う (3) とても思う (7)
- Q6. 来年も開催されるとしたら、後輩に勧めたいですか
まったく勧めない(1) 勧める(6) とても勧める (3)

アンケート回答 (2)

Q7. わかりにくかった内容や聞きたかった内容があれば教えてください

- DAQ-MWの概要については大分理解できたと思います。コンポーネントの開発については雰囲気はつかめたのでこれから少しずつ試してみても勉強していきたいと思います。
- マニュアル31ページのROOTの出力でデータの受け取りがうまくいかなかった。タイプミスか？
- ネットワークの部分は倍くらい時間をとってもいいと思います。
- コンディションデータベースの使い方
- ネットワークプログラミングに不慣れだったのでその説明はちょっとついていくのが大変でした。
- 補足の資料として、OSのインストールからの環境構築(gccやライブラリの追加など)や、エラー内容の対処方法などもあるといい。VMware Playerのイメージは練習としてはよいが、実際にはローカルにインストールして作業するので。あとオフライン環境での構築ができるように必要なツール、ライブラリが入ったDVDとかいただけるとうれしい。
- ネットワークでPCとPCがつながる方法をもっと聞きたいです。

アンケート回答 (3)

Q8. 今後のご要望、ご意見その他ご自由にかいてください。

- 開発マニュアルで自習していました。時間が余ったというわけではありませんが、応用的な自習用の回台(簡単な練習課題)があったら面白いと思いました。
- 一昨年の講習に比べて格段に良くなっている。関係者のご努力に感謝したい。
- 春休み～1学期にかけて自分で行っていたC++, ROOTの学習の延長として参加したので正直難しかった。夏休みの時間を生かして続けてやっていこうと思う。いずれ必要になる知識であるし。
- ADCでもscalerでもいいので実ハードにアクセスする実習があるといいと思いました。
- DAQ Operatorから現在測定中のRun NumberをWebから取得するコマンドがほしい。DAQコンポーネントで作ったXMLをDAQ Operator経由で上位におくる仕組みがほしい。
- ネットワークプログラミングの講義はためになった(とっかかりとして)。コンポーネントの作成はらくになったと思います。
- とてもためになりました。ありがとうございました。
- Windowsへの対応(ユーザーが多いので)。制御系との連携方法など(データを取りながら温度調整やステージ移動したいという方がいるので)。
- 今後Middleware開発のニュース、情報などを知りたいです。